

令和5年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会

日時: 令和6年3月8日(金) 午後2時00分～

会場: 新潟市歴史博物館本館セミナー室

次 第

1 開会

2 館長あいさつ

3 議事

(1) 令和5年度の館運営状況について

- ① 歴史博物館
 - 1) 事業報告
 - 2) 来館者数の動向

- ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業報告
 - 2) 来館者数の動向

(2) 来年度事業について

- ① 歴史博物館
 - 1) 事業計画

- ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業計画

(3) その他

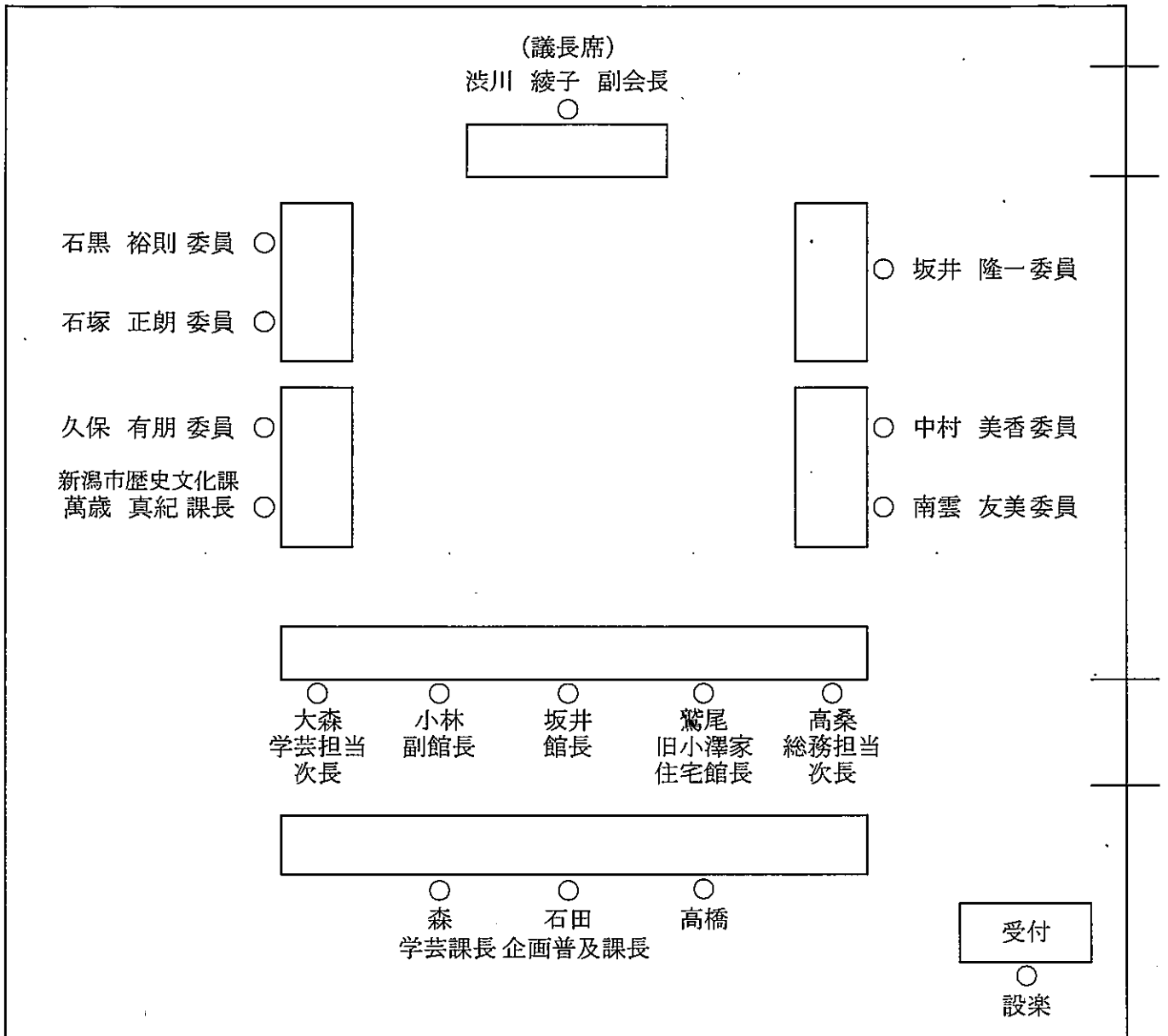
- ・ 令和6年度運営協議会に向けて

4 閉会

令和5年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会 席次

日時: 令和6年3月8日(金) 午後2時00分～

会場: 新潟市歴史博物館本館セミナー室



新潟市歴史博物館運営協議会
(R5～R6年度) 委員 名簿

(令和5年7月4日現在)

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	新潟大学人文学部名誉教授(民俗)
2	石黒 裕則	新潟市立木崎中学校長
3	石塚 正朗	新潟日報社 読者局 事業担当部長
4	大籾 裕一郎	新潟市小中学校PTA連合会 副会長
5	久保 有朋	古町花街の会
6	坂井 隆一	新潟市立和納小学校長
7	品田 泰	BSN新潟放送 ビジネスプロデュース局 事業部長
8	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
9	中村 美香	(有)ミカユニバーサルデザインオフィス
10	中村 元	新潟大学人文学部准教授
11	南雲 友美	公募委員
12	宮城 貴志	日本旅行業協会 関東支部 新潟地区委員長

(50音順)

オブザーバー	萬歳 真紀	歴史文化課 課長
--------	-------	----------

新潟市歴史博物館運営協議会 事務局 名簿

(令和5年4月1日現在)

役職	氏名
新潟市歴史博物館	
館長	坂井 秀弥
副館長	小林 隆幸
総務担当次長	高桑 一代
学芸担当次長	大森 慎子
企画普及課長	石田 孝子
学芸課長	森 行人
職員	設楽 明子
新潟市文化財 旧小澤家住宅	
館長	鷺尾 雄二
職員	高橋 久美

新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

(定数)

第3条 定員は15名以内とする。

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、令和5年4月1日から令和7年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要項は平成31年4月1日から施行する。

この要綱は令和3年4月1日から施行する。

この要綱は令和5年4月1日から施行する。

令和5年度事業報告 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・7月・9月・1月・2月の5回、展示替えした。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

①「長井雲坪」展

幕末から明治にかけて活躍した沼垂出身の画家長井雲坪は、長崎で画を学び、一時新潟へ帰郷したが、おもに長野を拠点に活動した。長野で所蔵されてきた一大コレクションを借用し紹介した。

開催期間 令和5年4月8日～5月28日 44日間

観覧者数 2,674人（うち有料観覧者 1,486人、無料観覧者 1,188人）

②「川村修就と新潟」展

天保14年、新潟町は幕府の領地となり、その管理のため「新潟奉行」が新たに設置された。初代新潟奉行となった川村修就の子孫が新潟市へ寄付した貴重な史料から、新潟奉行設置の経緯や激動の時代を生きた川村家の歴史を伝えた。

開催期間 令和5年7月22日～9月3日 39日間

観覧者数 3,136人（うち有料観覧者 2,023人、無料観覧者 1,113人）

③第20回むかしのくらし展「どうぐのどうぶつえん！」

くらしの中で使われる道具には、動物の名前や姿かたちからヒントを得たものが数多く存在する。身近な道具から、動物と私たちのくらしとの関りについて紹介した。

開催期間 令和5年9月16日～12月3日 65日間

観覧者数 6,891人（無料観覧者）

④「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催している。今年度は「いろいろな地図を見る」をテーマに、明治から平成の新潟市の移り変わりを地図で紹介した。また、令和5年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和5年12月16日～令和6年1月28日 32日間

【資料1】

観覧者数 1,931人（無料観覧）

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。

① 体験の広場事業

ボランティアスタッフの協力も得ながら、体験の広場の設備や道具を活用したプログラムのほか、館外での活動も含め、小学生や家族連れ、大人に限定したものなど各種の体験プログラムを計65回（2月末時点）実施した。

② 博・学連携事業

小学校67校・中学校22校を受け入れ見学に際し展示解説等を行った。そのほか、学校へ出向いて行う授業を小学校6校・中学校1校で実施した。また職場体験では中学校4校、小学校1校から生徒を受け入れた。新潟大学と連携して開講している寄附講義「ミュージアム論」に学芸員を講師に派遣したほか、あらたに新潟大学の「日本・東洋美術史」にも学芸員を派遣した。大学生を対象とする館実習は、通年および夏休み期間集中の2本を実施した。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全10回、歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」全4回 館長講座 全4回（3月実施予定）

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。当年の新規希望者は一般が16名、高校生16名。全登録者数129人。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」（3回）、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体と共催で「夕涼みコンサート」（8/19）および「みなと・しもまち・川まつり」（8/27）を開催した。また、コロナ禍前には例年開催していた「堀と桜のコンサート」は、今回も実施されなかった。

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会をはじめ、バスツアー「城下町村上」（6/4）、まちあるき「亀田のまちと砂丘跡を歩く」（10/28）、館長講演会「大化の改新と淳足柵・磐舟柵」（12/3・1/14）、学芸員による講座「絵図にみる新潟ゆかりの有名人」（2/11）を実施した。

(5) 調査研究事業

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要20号』にまとめた。

(6) 資料整理事業

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「1964」展

世界最速の新幹線が走り出し、アジア初のオリンピックが東京で開催された1964(昭和39)年、新潟では国体が開催され、その直後に大地震が発生した。昭和史に残る出来事が続いた1964年を振り返る。

開催期間 令和6年2月17日～3月24日 30日間

観覧者数 開催中

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象に上達のコツを教える全10回の古文書講座。参加登録者38名。

③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる全11回の体験プログラムを実施した。クラブ員23名。

④ 大人の体験プログラム

「はじめての水墨画」(5/4) 会場：たいけんの広場 参加者15名

⑤ 特別講演会

富田和気夫氏(石川県金沢城調査研究所所長)「新潟できく金沢城とその石垣の話」(11/3) 会場：ミュージアムシアター 参加者62名

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として実施。

●古町こども研究所

・小学生研究員は「白山公園いまむかし 名所すぐろくをつくろう」をテーマに、白山公園

【資料1】

の現地踏査(9/10)、それを基にすごろくを作るワークショップ(10/7)を行った。参加者5名

- ・中学生研究員は「信濃川」を大テーマに設定し、研究員それぞれが独自のテーマを掲げ、指導する学芸員のもと、各自のペースで調査研究活動を行った。参加者3名

⑦ 外部への講師派遣

民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会等へ、学芸員を40回講師として派遣したほか、新潟大学の講義へ職員を23回派遣した。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)
- ② 旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)
- ③ 屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ①物販等ショップの運営
- ②自動販売機設置
- ③企画展関連物販

「むかしのくらし どうぐのどうぶつえん！」展にあわせて、近隣の店舗等にご協力いただき、動物をモチーフにした商品を販売した。

■令和5年度歴史博物館入館者数 令和5年度目標 77,000人

(1月末現在) 67,346人 ※昨年同時期 77,082人(対前年度比 87%)

…令和5年度入館者数見込 77,361人

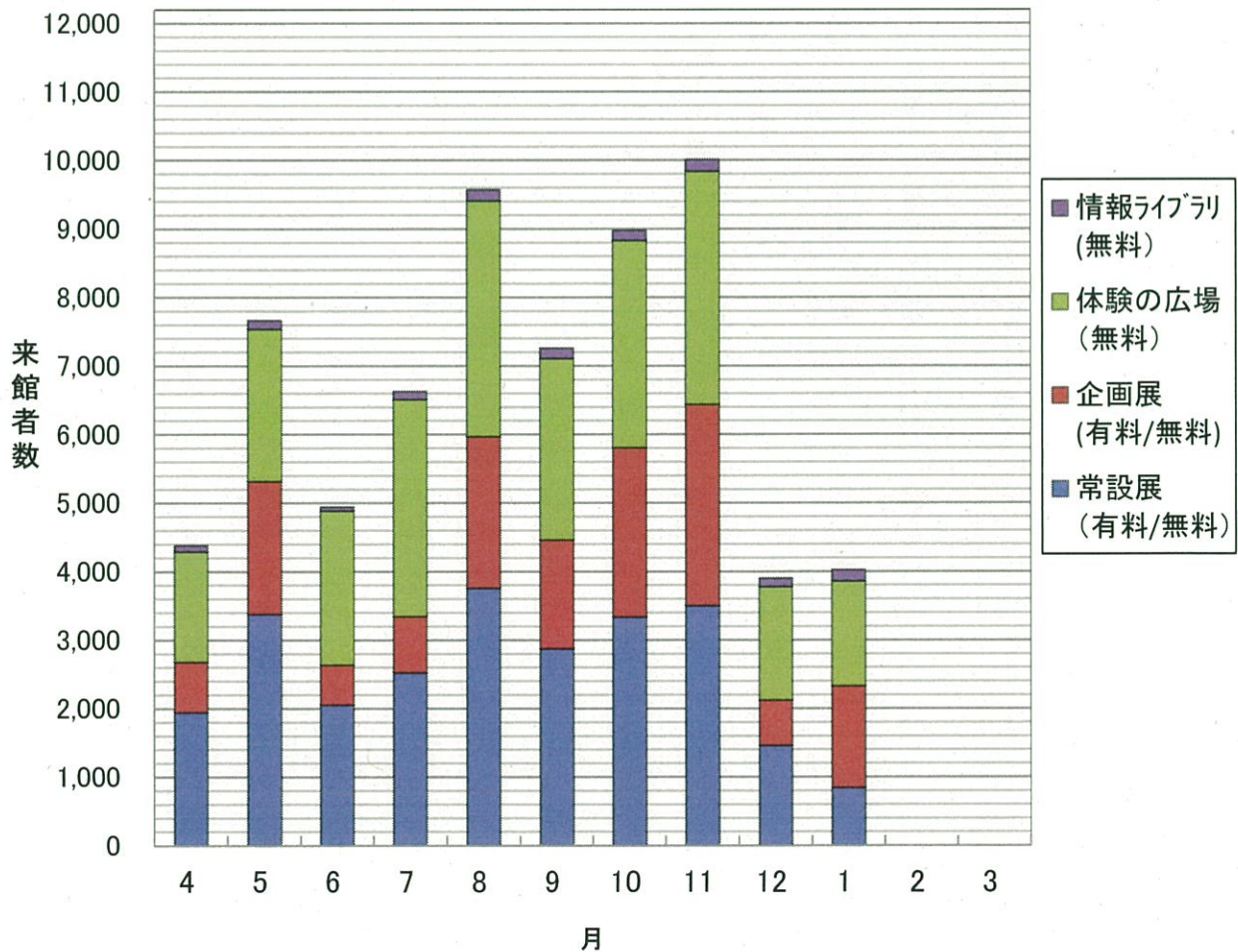
令和5年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R5月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	1,950	733	1,608	91	4,382	169
5	26	3,380	1,941	2,217	124	7,662	295
6	20	2,055	586	2,243	59	4,943	247
7	26	2,526	825	3,160	115	6,626	255
8	28	3,761	2,212	3,436	159	9,568	342
9	25	2,875	1,591	2,641	151	7,258	290
10	26	3,340	2,470	3,020	145	8,975	345
11	24	3,502	2,938	3,397	175	10,012	417
12	23	1,464	662	1,652	121	3,899	170
1	22	844	1,486	1,528	163	4,021	183
2	16					0	0
3	26					0	0
計	288	25,697	15,444	24,902	1,303	67,346	

*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」812人を含む

5年度 月別来館者数



【資料2】

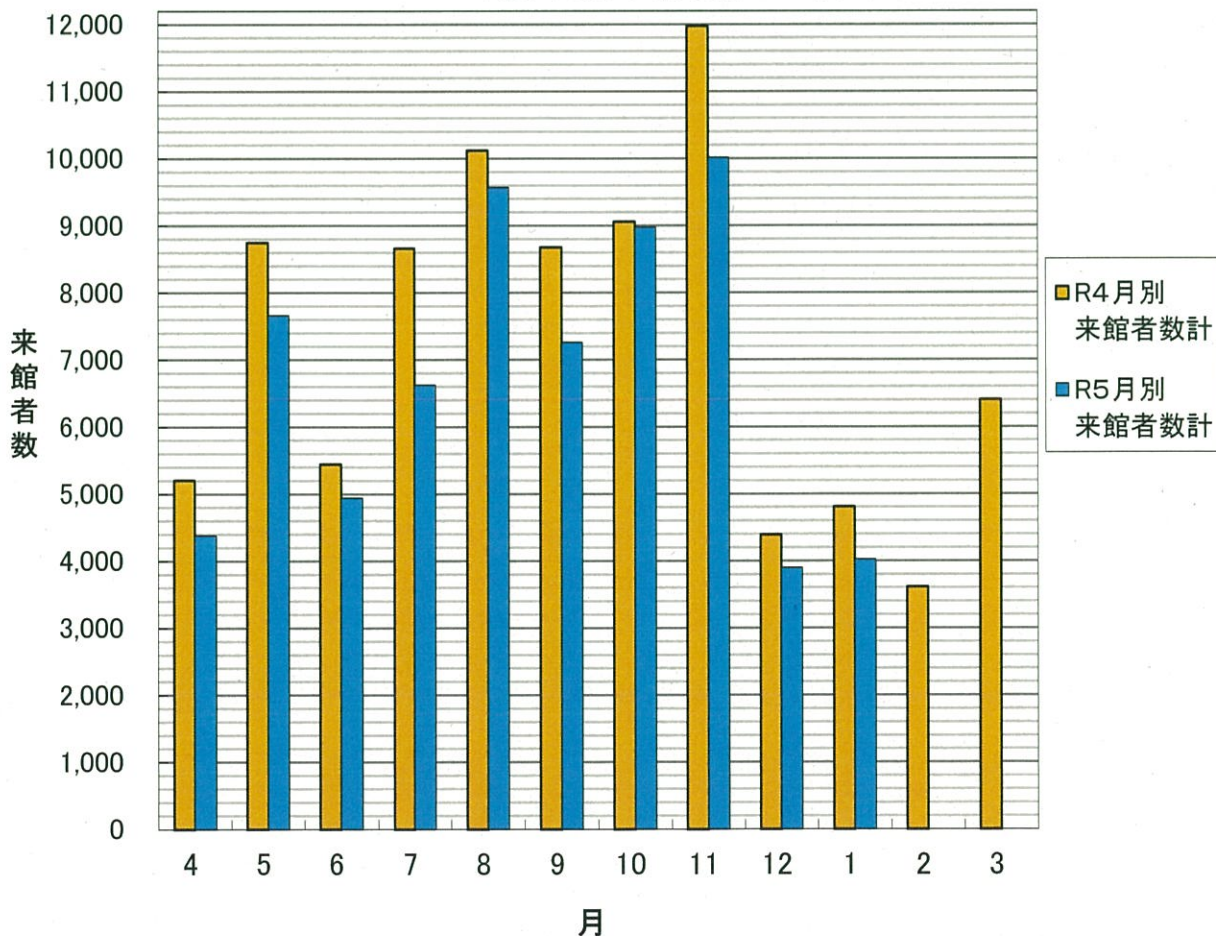
＜参考＞令和4年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R4月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,155	1,063	1,872	115	5,205	200
5	27	3,732	2,492	2,343	180	8,747	324
6	20	1,845	1,241	2,251	106	5,443	272
7	27	2,669	2,852	2,930	209	8,660	321
8	26	3,894	2,916	3,113	198	10,121	389
9	26	2,639	2,918	2,968	152	8,677	334
10	26	2,873	3,243	2,782	159	9,057	348
11	25	3,811	4,224	3,769	169	11,973	479
12	23	1,448	1,085	1,763	95	4,391	191
1	24	1,196	1,630	1,800	182	4,808	200
2	17	1,093	1,060	1,321	136	3,610	212
3	26	2,556	1,706	1,988	155	6,405	246
計	293	29,911	26,430	28,900	1,856	87,097	

*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」689人を含む

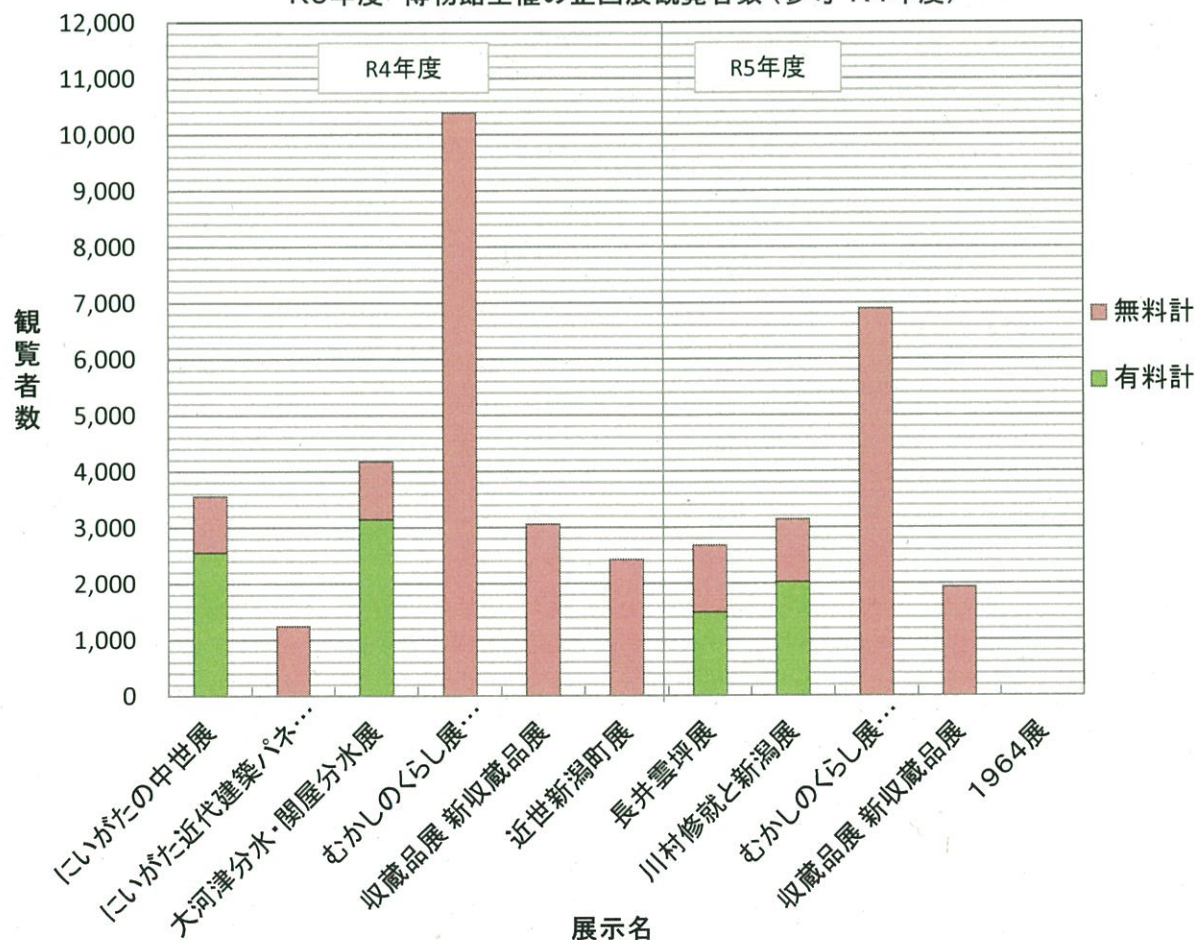
R4・R5年度 月別来館者数の比較



R5年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R4年度）

	企画展名	会期	開館日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
R4年度	にいがたの中世展	4.16～5.29	39	3,555	2,555	1,640	915	1,000	191	139	91
	にいがた近代建築パネル展	6.4～6.19	14	1,241	0	0	0	1,241	0	0	89
	大河津分水・関屋分水展	7.17～8.28	37	4,174	3,143	1,946	1,197	1,031	4	423	113
	むかしのくらし展 「ごっつお！」	9.10～11.27	67	10,385	0	0	0	10,385	2,188	0	155
	収蔵品展 新収蔵品展	12.10～2.5	44	3,060	0	0	0	3,060	0	0	70
	近世新潟町展	2.18～3.26	31	2,421	0	0	0	2,421	0	0	78
R5年度	長井雲坪展	4.8～5.28	44	2,674	1,486	964	522	1,188	354	148	61
	川村修就と新潟展	7.22～9.3	39	3,136	2,023	1,288	735	1,113	136	402	80
	むかしのくらし展 「どうぐのどうぶつえん！」	9.16～12.3	65	6,891	0	0	0	6,891	1,637	0	106
	収蔵品展 新収蔵品展	12.16～1.28	32	1,931	0	0	0	1,931	0	0	60
	1964展	2.17～3.24	30	0	0	0	0	0	0	0	0

R5年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R4年度）



【資料3】

令和5年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

新潟町の歴史に関連した企画展や旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「新潟歴史玉手箱」展

期間 令和5年4月1日(土)～5月7日(日)

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑等、見過ごされがちな事物・事象を取り上げ、歴史を掘り起こし紹介した。

観覧者数 1,328名(有料 1,177名・無料 151名)

② 「端午の節句飾り」展

期間 令和5年4月28日(金)～5月13日(土)

小澤家に伝わる兜など、端午の節句に合わせた飾りを展示した。

観覧者数 815名(有料 698名・無料 117名)

③ 「老舗料亭 行形亭の器」展

期間 令和5年5月20日(土)～6月25日(日)

新潟の食・もてなしの文化を支え伝えてきた料亭の老舗「行形亭」で使われた器や資料を展示紹介した。

観覧者数 1,664名(有料 1,446名・無料 218名)

④ 「みんなの問題・海のごみ」展

期間 令和5年7月15日(土)～7月30日(日)

一般社団法人 JEAN(クリーンアップ全国事務局)との共催。

【資料3】

海洋ごみ問題の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ゴミについてのパネルを展示した。

市内でビーチコーミングをしている富川氏より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。8月31日（木）まで。

観覧者数 471名（有料 392名・無料 79名）

⑤ 桜井進一氏写真展「七夕まつり・復興まつり」展

期間 令和5年7月5日（水）～8月27日（日）

桜井進一氏が撮影した七夕まつりと、新潟大火からの復興を祈念した復興祭りの写真を展示紹介し、往時の姿を回顧した。

観覧者数 1,651名（有料 1,406名・無料 245名）

⑥ 生誕140年「安宅安五郎」展

期間 令和5年9月9日（土）～9月24日（日）

新潟市の画家安宅安五郎の生誕140年を記念して、その足跡の一端を紹介した。

観覧者数 792名（有料 682名・無料 110名）

⑦ 新潟郵趣会展「絵はがきと年賀状ー時代と共に生きる切手の世界ー」

期間 令和5年9月30日（土）～10月9日（月・祝）

明治期以降の切手・絵葉書・年賀状を通し、当時流行したデザインなど郵趣の魅力の一端を紹介した。

観覧者数 380名（有料 323名・無料 57名）

⑧ 企画展「新潟仏壇工芸」展

期間 令和5年10月14日（土）～11月5日（日）

新潟仏壇組合の協力を得て、新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。また、池坊による生け花の展示も行った。

観覧者数 1,722名（有料 916名・無料 806名）

⑨ 「みなとまち新潟の芸と風土」

期間 令和5年10月25日（水）～11月26日（日）

市内の各施設と連携して、新潟の歴史を紹介する資料を展示した。

観覧者数 2,152名（有料 1,276名・無料 876名）

⑩ 「伊勢型紙の世界」展

期間 令和5年11月18日（土）～令和6年1月21日（日）

日本の染色技法のひとつ「型染」で用いられる「型紙」。その文様の豊かさと魅力を紹介した。

観覧者数 1,504名（有料 1,206名・無料 298名）

⑪ 「ひな人形とからくり人形」展

期間 令和6年2月17日（土）～3月24日（日）

小澤家や近隣に伝わるものをはじめ、江戸時代以降のひな人形と、江戸時代のからくり人形を展示する。

【資料3】

(2) 教育普及事業

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 講演会「街角の銅像・記念碑を楽しむ」・・・4月23日（日）

「新潟歴史玉手箱」展にあわせて、本井晴信氏を講師に、街角の銅像や記念碑についての解説を聞いた。

② 古文書講座・・・6月7日（水）、14日（水）、21日（水）、11月8日（水）、15日（水）、22日（水）

本井晴信氏を講師に、初心者向けの古文書講座を開講した。

③ 庭園講習会・・・6月25日（日）、11月25日（土）

旧小澤家住宅の庭園の管理をしている長生園の田辺良夫氏を講師に、松の剪定等の技術を学んだ。

④ 生誕140年「安宅安五郎」展 記念イベント「講演会と歌の集い」・・・9月17日（日）

生誕140年「安宅安五郎」展にあわせて、美術研究者山浦健夫氏による「安宅安五郎と新潟市」をテーマにした講演会、ソプラノ歌手笹原美香氏による独唱会、遠州流二野一社中による生け花の展示を開催した。

⑤ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月15日（日）・22日（日）・29日（日）・11月3日（金・祝）

「新潟仏壇工芸」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ（金具打ち・蒔絵塗）を開催した。

⑥ 重陽の節句のアレンジメント・・・10月21日（土）

アトリエ tazymazy の長谷川京子氏を講師に、重陽の節句にあわせた菊のアレンジメント作り体験を行った。

⑦ クリスマスからお正月まで使える苔玉作り・・・12月2日（土）

アトリエ tazymazy の長谷川先生を講師に、飾りを変えてクリスマスからお正月まで使える苔玉を制作した。

⑧ 冬囲い作業の公開・・・12月2日（土）

毎年行っている庭園の冬囲い作業を来館者に公開し、見学可能とした。

⑨ 稲穂で作る正月飾り・・・12月3日（日）

新潟アグリクラフトの協力を得て、稲穂など自然の素材を使った正月飾りを作った。

⑩ フラワーアレンジメント ワンディレッシン・・・3月2日（日）

「花で彩る」の関連企画。1日限りのフラワーアレンジメント教室を開催する。

⑪ 稲わらで作るひな人形・・・2月17日（土）

新潟アグリクラフトを講師に、自然の素材を使ったひな人形を製作する。

⑫ からくり人形の実演・・・3月5日（日）

越後大郷からくり館の館長・日根之和氏を講師に、からくり人形の実演を行う。

⑬ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドに館内の案内をお願いした。

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 藤見煎茶会・・・5月14日(日)

藤の季節にあわせて、煎茶会を開催した。

② かえるまつり・・・6月1日(木)～6月30日(金)

今年も6月6日の「かえるの日」にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

福祉事業所が作成したさをり織りのポーチ「かえるちゃん」や、かえるクッキーなどかえるグッズの販売も行った。

③ 夏至祭・・・6月18日(日)

夏至の日にあわせて、毎年恒例の「夏至祭」を開催した。

かき氷や焼き菓子、カクテルやコーヒーといった飲食物やお花の販売を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたアルコールの提供も再開した。

④ 旧小澤家住宅 おやつの日・・・7月8日(土)、8月12日(土)

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。(旬果甘味店ルコト、柿の木珈琲店)

こはく会による、唄と三味線と踊りのライブと、新潟まつりに向けた佐渡おけさと新潟甚句の講習会も開いた。

⑤ 立川志の彦 落語口演会・・・7月15日(土)

落語家の立川志の彦氏を招いて、子ども向けと大人向けの落語会を開催した。

⑥ たねをまく朝ごはんと昼ごはん会 ちいさな量り売りマーケット・・・7月30日(日)

新潟の農家・お店の野菜やスープやパンの量り売りを行った。今回は「みんなの問題・海のごみ」展にあわせてプラスチックをテーマにし、ビニール袋の代わりに新聞紙の袋や持参したタッパーを利用するなどした。

新潟の食材を使用した少人数の朝ごはん・昼ごはん会も開催した。

⑦ 文化の日 無料公開・・・11月3日(金・祝)

文化の日になみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。

⑧ 旧小澤家住宅 秋の文化祭・・・11月23日(木・祝)

今回8回目のイベント。一日限定BARを台所に設置し、情報案内所ではパンや焼き菓子の販売を行った。刺繍や蠟燭作りのワークショップ、お花の販売や、こはく会による唄と三味線と踊りのライブも行った。

【資料3】

- ⑨ 年忘れ煎茶会・・・12月3日(日)
煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。
- ⑩ コーヒー等の販売・・・12月9日(土)、23日(土)、1月13日(土)、20日(日)、2月24日(土)
新潟市内のコーヒーや焼き菓子やパンや焼き芋、小物の販売店を招き、来館者への販売を行った。
- ⑪ たねをまくレストラン 冬のお粥御膳と甘味・・・2月12日(月・祝)
冬の食材で作ったお粥やおばんざい、甘味やお汁粉を提供し、厳しい冬を乗り越えてきた先人の知恵や、新潟の冬の恵みについて旬果甘味店ルコトの店主に解説していただく。
- ⑫ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日(金・祝)
「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、箏と尺八による春らしい曲の演奏会を開催する
- ⑬ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・3月2日(土)～3月10日(日)
アトリエ tazymazy の協力により、通り土間をフラワーアレンジメントで彩る。
- ⑭ ミニ展示
通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、スタンドグラスや人形などを展示した。

(4) 調査研究事業

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和5年度 旧小澤家住宅入館者数

令和5年度 目標 14,000人

(1月末現在) 11,726人 (対前年度比 101% ほぼ同じ)

・・・令和5年度入館者見込 13,564人

○ 旧小澤家住宅の 付帯事業

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

箸置き、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどオリジナル商品の開発・販売にも力を入れている。

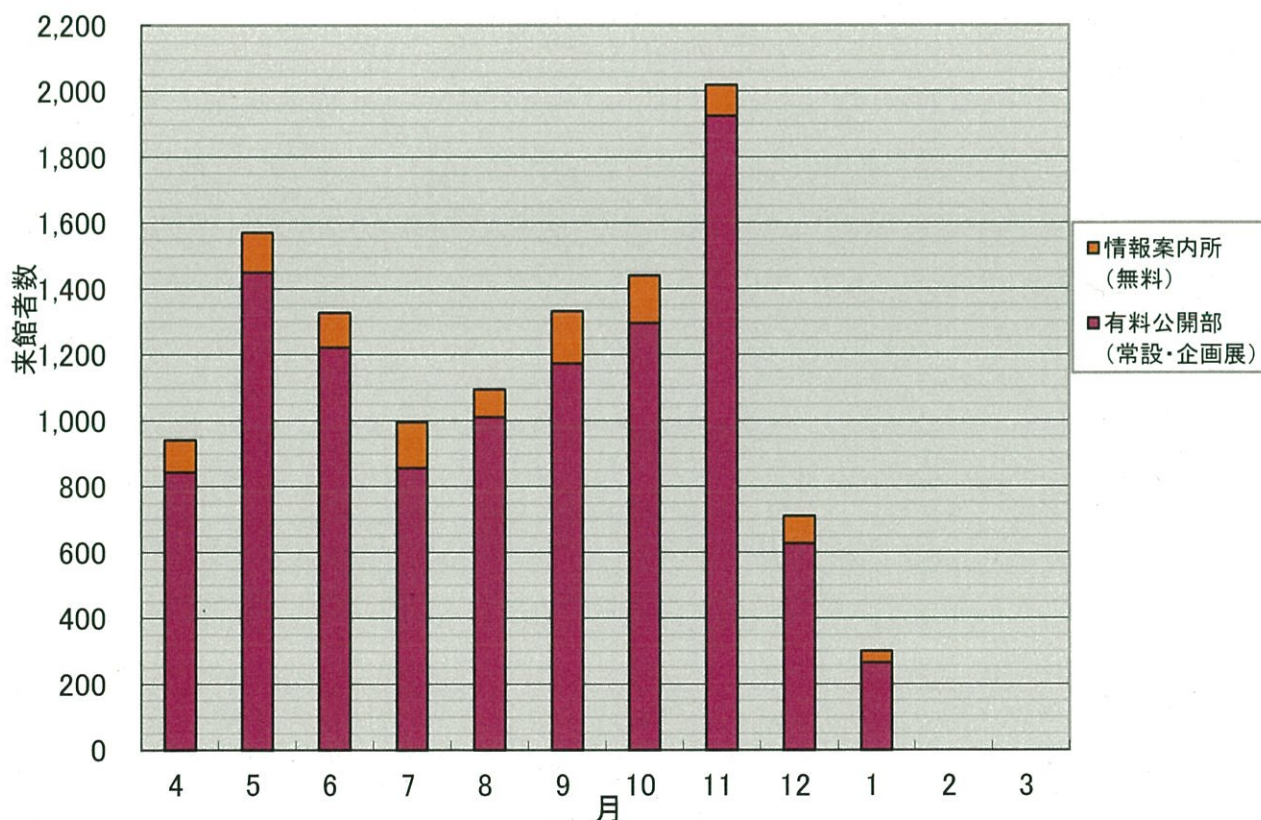
【資料4】

令和5年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R5月別 来館者数計	R5日平均 来館者数	備考
4	26	843	97	940	36	
5	26	1,449	121	1,570	60	
6	26	1,222	105	1,327	51	
7	26	856	139	995	38	
8	28	1,010	84	1,094	39	
9	25	1,173	159	1,332	53	
10	26	1,296	144	1,440	55	
11	24	1,924	94	2,018	84	
12	23	627	83	710	31	
1	16	265	35	300	19	
2	16			0	0	
3	26			0	0	
計	288	10,665	1,061	11,726	41	

5年度月別来館者数

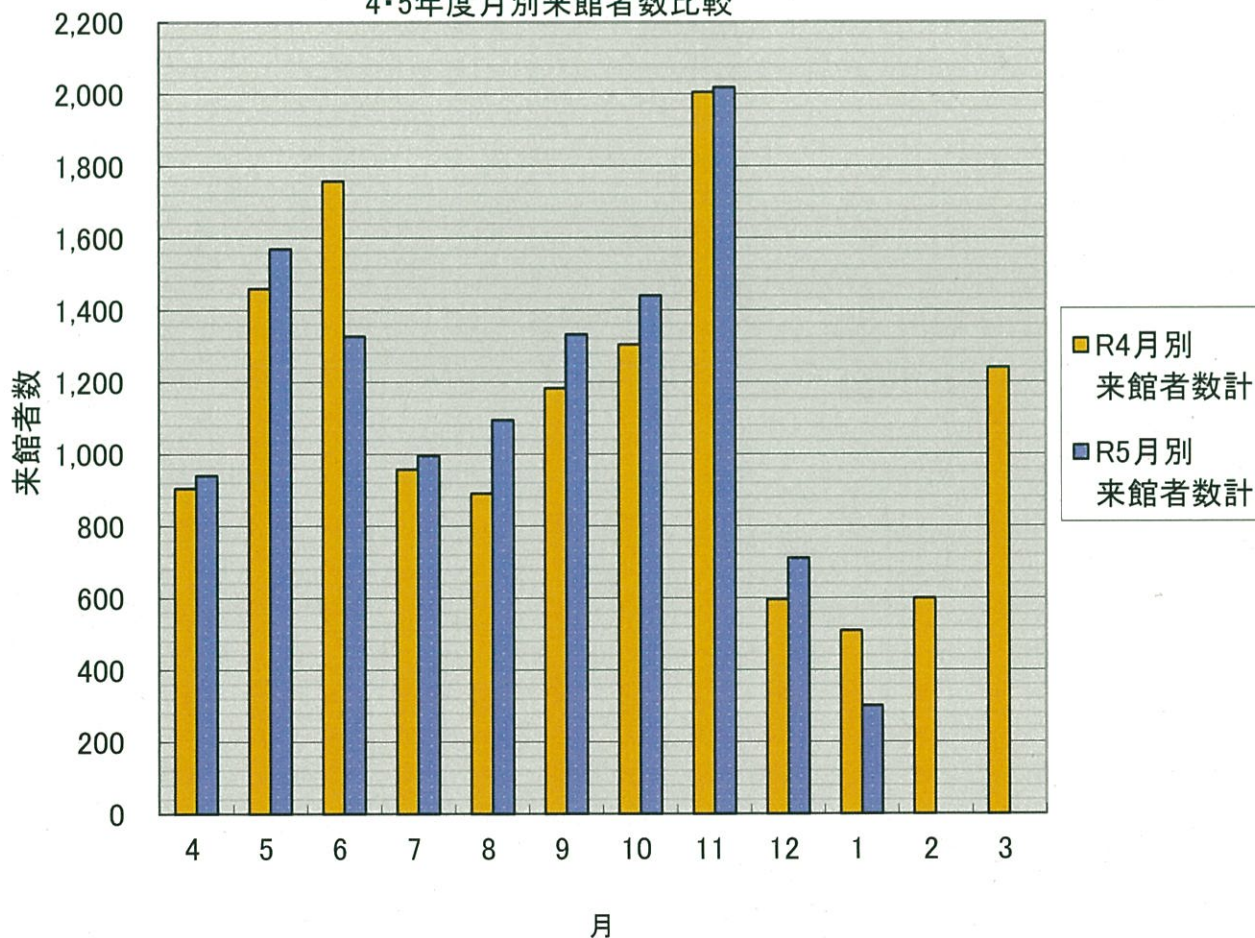


令和4年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R4月別 来館者数計	R4日平均 来館者数	備考
4	26	792	112	904	35	
5	27	1,305	154	1,459	54	
6	26	1,591	167	1,758	68	
7	27	782	175	957	35	
8	26	823	67	890	34	
9	26	1,062	120	1,182	45	
10	26	1,143	160	1,303	50	
11	24	1,851	154	2,005	84	
12	23	514	81	595	26	
1	24	405	104	509	21	
2	12	523	76	599	50	
3	26	1,099	140	1,239	48	
計	293	11,890	1,510	13,400	46	

4・5年度月別来館者数比較

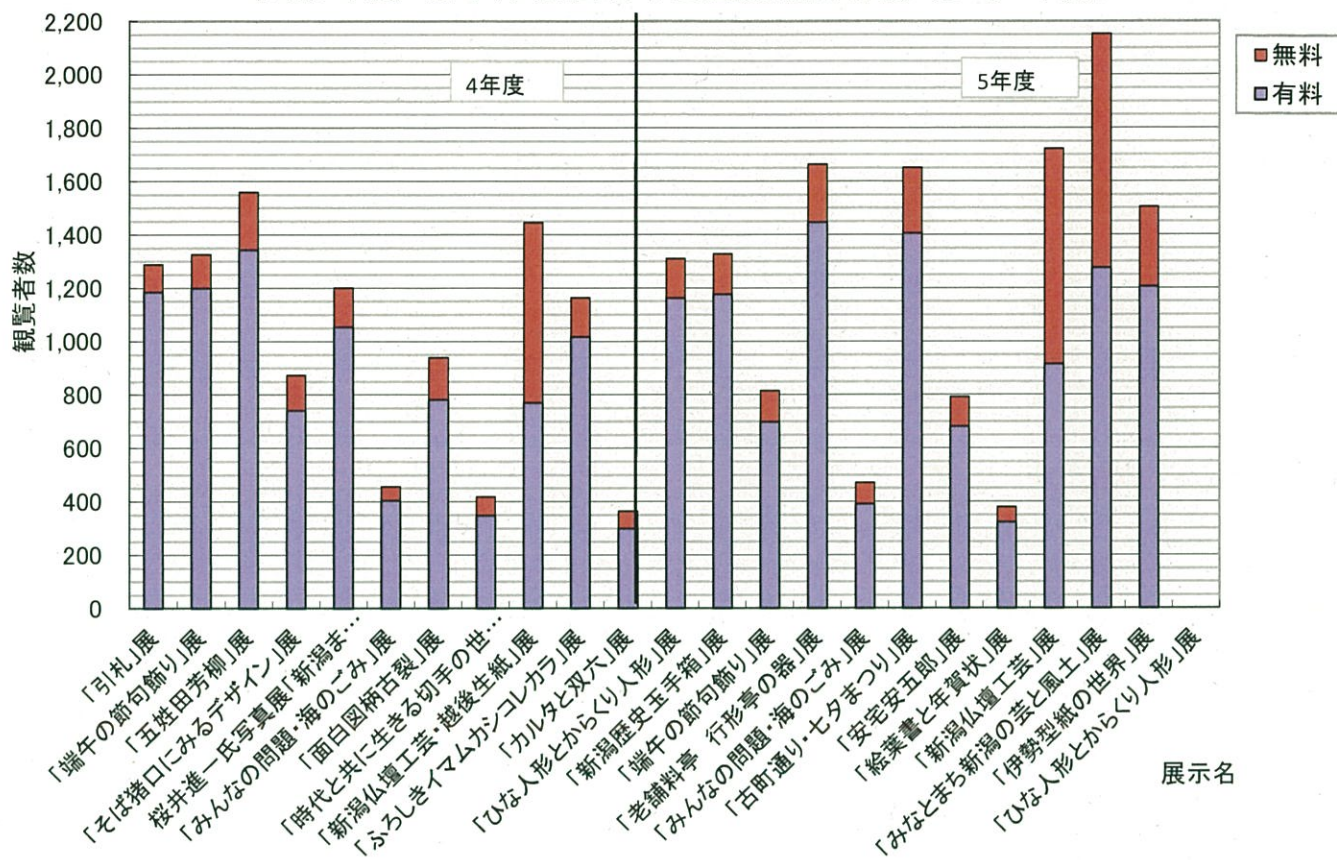


【資料4】

R5年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考4年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
4 年 度	「引札」展	R4. 4. 2～5. 8	1,288	1,185	479	706	103	5	12	33	39
	「端午の節句飾り」展	R4. 4. 20～5. 22	1,326	1,200	514	686	126	22	14	30	44
	「五姓田芳柳」展	R4. 5. 14～6. 12	1,559	1,343	620	723	216	47	23	26	60
	「そば猪口にみるデザイン」展	R4. 6. 18～7. 10	874	742	370	372	132	11	3	20	44
	桜井進一氏写真展「新潟まつり」	R4. 7. 16～8. 28	1,201	1,054	352	702	147		24	38	32
	「みんなの問題・海のごみ」展	R4. 7. 16～7. 31	456	405	103	302	51		7	14	33
	「面白図柄古裂」展	R4. 9. 3～9. 25	939	783	325	458	156	8	7	20	47
	「時代と共に生きる切手の世界」展	R4. 10. 1～10. 10	418	349	149	200	69		2	9	46
	「新潟仏壇工芸・越後生紙」展	R4. 10. 15～11. 6	1,445	770	296	474	675		9	19	76
	「ふろしきイマムカシコレカラ」展	R4. 11. 19～12. 25	1,164	1,017	402	615	147		9	31	38
	「カルタと双六」展	R5. 1. 7～2. 1	364	299	151	148	65		6	22	17
「ひな人形とからくり人形」展	R5. 2. 18～3. 21	1,310	1,162	468	694	148		36	26	50	
5 年 度	「新潟歴史玉手箱」展	R5. 4. 1～5. 7	1,328	1,177	470	707	151		9	33	40
	「端午の節句飾り」展	R5. 4. 28～5. 13	815	698	249	449	117		7	14	58
	「老舗料亭 行形亭の器」展	R5. 5. 20～6. 25	1,664	1,446	587	859	218		26	32	52
	「みんなの問題・海のごみ」展	R5. 7. 15～7. 30	471	392	161	231	79		8	14	34
	「古町通り・七夕まつり」展	R5. 7. 5～8. 27	1,651	1,406	496	910	245		16	48	34
	「安宅安五郎」展	R5. 9. 9～9. 24	792	682	256	426	110	6	8	14	57
	「絵葉書と年賀状」展	R5. 9. 30～10. 9	380	323	110	213	57		4	9	42
	「新潟仏壇工芸」展	R5. 10. 14～11. 5	1,722	916	321	595	806		2	20	86
	「みなとまち新潟の芸と風土」展	R5. 10. 25～11. 26	2,152	1,276	530	746	876	6	34	27	80
	「伊勢型紙の世界」展	R5. 11. 18～R6. 1. 21	1,504	1,206	536	670	298			49	31
	「ひな人形とからくり人形」展	R6. 2. 17～3. 24	0	0						30	0

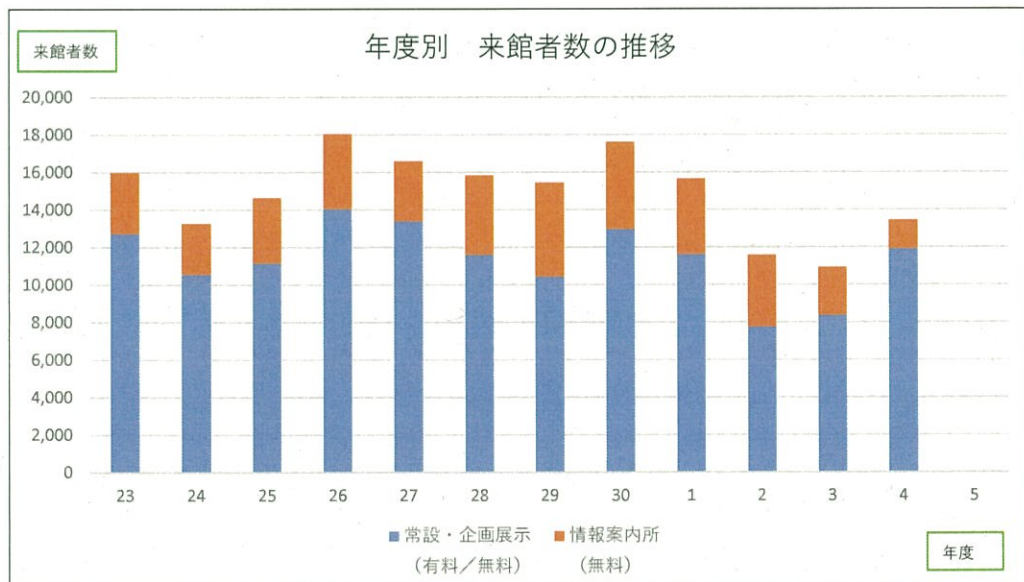
令和5年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考4年度）



【資料4】

開館からの来館者数の推移（旧小澤家住宅）

年度	来館者数	対前年度比	常設・企画展示 (有料/無料)	情報案内所 (無料)	備考
23	15,950	-	12,700	3,250	○7月開館
24	13,237	△2,713	10,538	2,699	
25	14,608	1,371	11,134	3,474	
26	18,005	3,397	14,018	3,987	
27	16,552	△1,453	13,378	3,174	
28	15,795	△757	11,578	4,217	
29	15,396	△399	10,412	4,984	
30	17,576	2,180	12,950	4,626	
1	15,603	△1,973	11,591	4,012	
2	11,544	△4,059	7,735	3,809	
3	10,896	△648	8,343	2,553	
4	13,400	1,856	11,890	1,510	
5		△10,896			※1月末現在
累計	178,562		136,267	42,295	



令和6年度事業計画 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新

常設展示室の通年公開・運営に加え、当展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。本年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「北前船と新潟」展

開催期間 令和6年7月27日～9月1日 33日間

新潟市は北前船を主題とした日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成自治体である。北前船は江戸時代から明治時代にかけて、現在の北海道から大阪間の日本海航路において国内流通の一翼を担い、新潟をはじめ航路上の港町を大いに活気づけていった。本展は北前船と新潟の関係を語る資料を紹介し、日本海海運の歴史を紐解く。

また、関連事業として市内に残る「北前船」関連文化財などをめぐるとともに、河川交通や古町芸妓の鑑賞などを盛り込んだ体験型イベントを開催する。

② 第21回むかしのくらし展「くらしの環境（仮）」

開催期間 令和6年9月14日～12月1日 67日間

新潟市域は多様な環境を有し、人々はさまざまな形で自然を利用して生活を営んできた。生活を支える社会・経済基盤の整備や産業の発展に伴い、くらしにおける人々と環境の関わりも変化してきた。市域の人々が営んできたくらしを、環境という視点から振り返る。

③ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和6年12月14日～令和6年1月26日 32日間

テーマを設けて館が収蔵する資料を紹介する収蔵品展と、令和6年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

④ 「石川侃齋」展

開催期間 令和7年2月8日～3月30日 42日間

江戸時代後期に活躍した新潟町の絵師 石川侃齋の本格的な山水画から、のどかな文人たちの理想の姿を描いたものまで、新潟の人々に愛され伝えられてきたそれらの作品から彼の画業を探ります。

⑤ その他

【資料5】

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行う。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。また博物館ホームページに新しいコンテンツ制作を予定。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・博物館講座 年10回(1月、3月を除く各月の第4日曜日、6月第5日曜日)
- ・館長講座 全4回程度(開催日調整中)
- ・歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」 全4回(開催日調整中)

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」

令和3年度から再スタートした自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「新潟美人と花街」展

開催期間 令和6年4月13日～6月9日 51日間

新潟美人とは江戸時代から続く湊町新潟の遊女や芸妓を指す言葉で、広く評判を得た彼女たちは、地域ブランドとして湊町の発展を背後から支える存在でもあった。新潟美人と呼ばれた女性たちとその舞台となった花街について紹介する。

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。

毎月第3水曜日（8月のみ第4水曜日）に実施予定 全10回 定員60人

③ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

【資料5】

新潟市の枠を超えた歴史をテーマとする講演会を企画・開催する。

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として継続実施する。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

令和6年度事業計画 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

①「新潟歴史玉手箱」展

開催期間 令和6年4月13日(土)～5月19日(日)

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介する。

協力：新潟ハイカラ文庫

②「民藝」展

開催期間 令和6年5月25日(土)～7月7日(日)

筒描の夜着・しな布の暖簾・地元や東北の民窯の器・船筆笥など手仕事によって生まれた味わい深い品々を展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

③桜井進一氏写真展「ふるさと新潟海岸—我は海の子—」

開催期間 令和6年7月13日(土)～9月1日(日)

桜井進一氏が撮影した新潟海岸の写真を展示紹介し、往時の姿を回顧する。

④「みんなの問題 海のゴミ」展

開催期間 令和6年7月13日(土)～7月21日(日)

一般社団法人J E A N所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人J E A N

⑤新潟郵趣会展「オリンピックイヤーに寄せて—時代と共に生きる切手の世界—」展

開催期間 令和6年9月14日(土)～10月6日(日)

明治期以降の切手・絵はがきなどを通じて、郵趣の魅力の一端を紹介する。

共催：新潟郵趣会

【資料6】

⑥「新潟仏壇工芸」展

開催期間 令和6年10月12日(土)～11月4日(月)

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

共催：新潟仏壇組合、新潟市

⑦小澤家の品々「明治期東京土産写真」展

開催期間 令和6年11月16日(土)～12月22日(日)

明治期の東京名所や著名人が写った名刺サイズの写真を展示する。

⑧「羽子板」展

開催期間 令和7年1月4日(土)～年1月19日(日)

小澤家に贈られた華やかな羽子板を展示する。

⑨「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和7年2月15日(土)～3月23日(日)

上巳にあわせ、当館及び市内で使用された雛人形を展示する。また、新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛や動く人形としてのからくり人形も展示紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験（「新潟仏壇工芸」展中）

稲わらでつくるひな人形 令和7年2月23日(日)

からくり人形実演 令和7年3月2日(日)

・ふろしき講座

・クリスマスのフラワーアレンジメント

・稲穂でつくる正月飾り

・フラワーアレンジメントワンディレクション

② 講座・講習・講演会事業

・企画展の内容に即した講座

・古文書講座 全2回(6月・11月)

・庭園講座 全2回(令和6年6月22日(土)、11月16日(土))

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

- ① 芸術文化活動の開催
 - ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和7年1月中
- ② 季節に合わせたしつらい
 - ・応接セットの展示 令和6年4月10日(水)～5月10日(金)
 - ・山野草の展示 令和6年5月11日(土)～5月19日(日)
 - ・かえるまつり 令和6年6月1日(土)～6月16日(日)
 - ・きのこまつり 令和6年10月5日(土)～10月14日(月)
- ③ 季節に合わせた飲食を伴うイベントの開催
 - ・藤見煎茶会 令和6年5月12日(日)
 - ・夏至祭 令和6年6月16日(日)
 - ・秋の大文化祭 令和6年11月23日(土・祝)
 - ・年忘れ煎茶会
- ④ 企画展をテーマにしたイベントの開催
 - ・箏と尺八の演奏会 令和7年2月24日(月・祝日)

(4) 調査研究事業

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

2 文化施設管理受託事業

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅(情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等)の管理運営を行う。

○付帯・施設貸与事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

令和6年度 新潟市歴史博物館カレンダー

2024年4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025年 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※ は休館日 (6月17日～6月24日は薬剤燻蒸、1月27日～2月7日は施設整備のため休館)

開館日数 289日

新潟市歴史博物館 ・ みなとぴあ

◆ **常設展** (常時公開)

水運や農業、水害など、さまざまに「水」と深く関わりながら生きてきた新潟の人々の歴史を、ジオラマや映像、実物資料を使ってわかりやすく紹介しています。
また、ミュージアムシアターでは、当館のオリジナル映像3本を午前10時から1時間毎に内容を替えて上映しています。

◆ **企画展** (タイトルは仮)

○ **「新潟美人と花街」展**

新潟美人とは、江戸時代から続く湊町新潟の遊女や芸妓を指す言葉でした。広く評判を得た彼女たちは、地域ブランドとして湊町の発展を背後から支える存在でもありました。新潟美人と呼ばれた女性たちとその舞台となった花街について紹介します。

4/13



6/9

○ **「北前船と新潟」展**

北前船は、江戸時代から明治時代、北海道から大阪間の日本海航路において国内流通の一翼を担い、新潟をはじめ航路上の港町を大いに活気づけていった存在でした。当市は、北前船を主題とした日本遺産の構成自治体です。本展は北前船と新潟の関係を語る資料を紹介し、日本海海運の歴史を紐解きます。

7/27



9/1

○ **第21回 むかしのくらし展 くらしの環境**

新潟市域は多様な環境を有し、人々はさまざまな形で自然を利用して生活を営んできました。今年度のむかしのくらし展は、市域の人々が営んできたくらしを、環境という視点から振り返ります。

9/14



12/1

○ **收藏品・新收藏品展**

★ **同時開催「新令和版 弘長寺二十五菩薩来迎図」展**

テーマを設け收藏品を紹介、さらに今年度の新収蔵の資料をご紹介します。同時開催では、日本画家 永吉秀司氏が手がけた「弘長寺壁画プロジェクト」(関川村)を紹介し、画家の地域貢献や新たな文化財修復方法を提唱します。

12/14



1/26

○ **「生誕260年記念 南画家 石川侃齋」展**

江戸時代の後期に活躍した新潟町の絵師 石川侃齋(いしかわ かんさい 1764-1840)は、大坂、長崎で修業した後、越後を来訪した釧雲泉、亀田鵬齋に学び、画風を確立していきます。佐久間象山も愛でた本格的な山水画から、のどかな文人たちの理想の姿を描いたものなど、新潟の人々に愛され伝えられてきた作品から画業を探ります。

2/8



3/30

講座等催事カレンダー

● 体験プログラム(土・日や祝日を中心に50回程度開催)

伝統的な季節の行事体験, 砂絵描き, 火起こし, ワラ紙づくりなどの子ども向け親子向けの楽しいプログラムを開催します。また, 夏休みの子どもを対象にした体験や大人を対象にした体験イベントなども行います。

● 博物館講座(1、3月を除く各月の第4日曜日に開催。ただし6月は第5日曜日)

当館の学芸員が, 日頃疑問に思っただけのことや研究を進めている内容について報告し, 参加者とともに考えていく講座です。

4/28、5/26、6/30、7/28、8/25、9/22、10/27、11/24、12/22、2/23

● 館長講座

当館館長自らが時流に合ったテーマを設定し、企画・開催する講座です。

● みなとびあ歴史発見プロジェクト

新潟の歴史に親しみ, 歴史発見の喜びを知るプロジェクトで, 企業や団体, 個人の方々から協賛・寄付金をいただいて, 企画展や講座, 体験プログラムなどを実施しています。詳しくは館からの案内やホームページ等をご覧ください。

○ 出張講座や講演会等も希望に応じ実施します。お気軽にご相談ください。

○【貸館事業】当館で開催予定の展覧会など

☆ 現代工芸美術展 6/29~7/7

(主催:一般社団法人 現代工芸美術家協会)

※催事の名称, 時期とも年度当初の予定です。

最新情報をポスターやチラシ, ホームページ, 電話等でご確認ください。

令和6年度 旧小澤家住宅開館カレンダー

2024年4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025年 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※ は休館日（1月20日～2月7日は施設整備のため休館）

開館日数 289日

【企画展のご案内】

- 「新潟歴史玉手箱」展 4月13日(土)～5月19日(日)
市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑等、見過ごされがちな事物・事象を取り上げ、歴史を掘り起こし紹介します。
- 「民藝」展 5月25日(土)～7月7日(日)
筒描の夜着・しな布の暖簾・地元や東北の民衆の器・船筆筒など手仕事によって生まれた味わい深い品々を展示します。
- 桜井進一氏写真展「ふるさと新潟海岸—我は海の子—」7月13日(土)～9月1日(日)
桜井進一氏が撮影した新潟海岸の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧します。
- 新潟郵趣会展「オリンピックイヤーによせて—時代と共に生きる切手の世界—」9月14日(土)～10月6日(日)
明治期以降の切手・絵葉書などを通じて、郵趣の魅力の一端を紹介します。共催：新潟郵趣会
- 「新潟仏壇工芸」展 10月12日(土)～11月4日(月)
新潟市の伝統的工芸品である「新潟仏壇」について展示紹介します。共催：新潟仏壇組合、新潟市
- 小澤家の品々「明治期東京土産写真」展 11月16日(土)～12月22日(日)
明治期の東京名所や著名人等が写った名刺サイズの写真を展示します。
- 「羽子板」展 1月4日(土)～1月19日(日)
小澤家に贈答された華やかな羽子板を展示します。
- 「ひな人形とからくり人形」展 2月15日(土)～3月23日(日)
明治期以降のひな人形や江戸期のからくり人形を展示します。共催：新潟ハイカラ文庫
タイトル・期間は変更となる場合があります。

【講座等のご案内】

- 「応接セットの展示」 4月10日(水)～5月10日(金)
- 「山野草の展示」 5月11日(土)～5月19日(日)
- 「藤見煎茶会」 5月12日(日)
- 「かえるまつり」 6月1日(土)～6月16日(日)
- 「夏至祭」 6月16日(日)
- 「庭園講習会」 6月22日(土)、11月16日(土)
- 展示「みんなの問題・海のごみ」 7月13日(土)～7月21日(日)
- 「きのこまつり」 10月5日(土)～10月14日(月)
- 「新潟仏壇工芸」展 製作体験 企画展期間中
- 文化の日 無料公開 11月3日(日)
- 「秋の大文化祭」 11月23日(土)
- フラワーアレンジメント体験「クリスマスの飾り」12月中
- 「稲穂でつくる正月飾り」 12月中
- フラワーアレンジメント展示「花で彩る」 1月中
- 「稲わらでつくるひな人形」 2月23日(日)
- 箏と尺八の演奏会 2月24日(月)
- からくり人形実演 3月2日(日)

ほか

イベントは変更となる場合があります。